

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

January / 10 / 2020 # 82

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『アンサンブルは楽しい！』

[2] Pepeのひとりごと

『新しいプロジェクト』

[3] おすすめ動画

『H.Voxman - Selected Studies for Trombone』

『Bartok - Der wunderbare Mandarin Pantomime, Op. 19 Sz 73 (Vienna Philharmonic, Pierre Boulez)』

[4] 演奏のヒント！

『同じパターンが続くときのポイント』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『アンサンブルは楽しい！』

先日、気の合うEuphoniumとTubaの友達と集まって、Euphonium、Tubaのアンサンブルを楽しもう！の会を開きました（笑）。

日頃アンサンブルをする機会が全くと言っていいくらいないのですが、大好きなんです。

ちょっとしたきっかけがあって、「じゃあ、やってみよう！」と

思いついてやってみたのですが、これが大当たり！！ :D

なかなかEuphoniumとTubaのアンサンブルをする機会って、
大学などに在籍しているか、そういうアンサンブルのグループに
所属していない限りなかなかないと思うのですが、このときに集まった
メンバーもみんな久しぶり（や初めて）の人ばかりで、とっても
楽しんでくれました！ :D

たくさん楽譜も持ってきてくれて、オリジナルの作品もアレンジの作品も、
たくさん吹きました～！
それにしても、昔と比べてオリジナルの作品も本当に増えましたね！
嬉しい限りです！！ :D

なかなかコンサートをする、ということにまではなりません、こうして
普段なかなか一緒に演奏する機会のない、でも気の合う人たちと集まって
一緒に演奏したり、情報交換したり、刺激を与えあったりすることって、
とてもいいと思っています。
これからも、どこかで時間を作ってやっていきたいと思います！ :)

[2] Pepeのひとりごと

『新しいプロジェクト』

かなり前に注文していた楽譜たちが、年が明けると届きました。
その中の一つにエチュード（Trombone用）があるのですが、今、
自分の中での新しいプロジェクトとして、このエチュードの動画を
録っていこうと思って早速やっています。

エチュードは、
Selected Studies for Trombone by H.Voxman
です。

Euphonium用のものは以前に購入してすでに全て動画を撮って
YouTubeにアップロードしています。
https://www.youtube.com/playlist?list=PLVTxZF9fjY06lz_VDm5FBoVyuWlboIqaS

これらの動画のコメント欄などで、以前よりTrombone用のものも
観たい（聴きたい）というリクエストがいくつか来ていました。

つい最近もそういうリクエストがあったので、今回他の楽譜を注文
するときに、一緒にこのエチュードのTrombone用のものも買いました。

Euphonium用のものとTrombone用のものとは、同じものがある、と

いうことは聞いていたのですが、思っていたよりも違うものが多くて、とてもいい練習になっています！ :D ;)

ぜひ、どちらも観てみてくださいね～！

同じエチュードを、同じ人が違う楽器で吹くとどうなるのか、そういう観かたも面白いと思います（笑）。

[3] おすすめ動画

『H.Voxman - Selected Studies for Trombone』

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLVTxZF9fjY070PYCwvhSbrBFlduVjIw27>

今月の1つ目の動画は、上の「ひとりごと」のところにも書きましたが、僕が今年に入って始めた新しいエチュードの演奏動画です。

最初に22ページと23ページを録ったのは、このページがリクエストされていたからです。 ;)

他にもリクエストはあったのですが、かなり前のことになり、どの動画のコメント欄にあったのか覚えていないので、この2つのあとは最初からコツコツ録っています。

オーケストラのスケジュールが忙しいとなかなか動画も録れないので、できるときにがんばって録りました！！

不定期更新となりますが、コツコツがんばって進めていきます。 ;)

『Bartok - Der wunderbare Mandarin Pantomime, Op. 19 Sz 73 (Vienna Philharmonic, Pierre Boulez)』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=Zhr_QJGzLjg&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=7&t=0s)

[v=Zhr_QJGzLjg&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=7&t=0s](https://www.youtube.com/watch?v=Zhr_QJGzLjg&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=7&t=0s)

2つ目の動画は、ウィーンフィルの演奏で、Bartok作曲の「中国の不思議な役人」です。指揮はP.Boulez氏。

CDで聴いて勉強したりはしますが、動画があると、またいろいろなこと

(指揮なども含め)を知ることができ、また新たな勉強になります。

しかも、こうした昔の演奏の映像は、自分が何歳の頃にこうして演奏していた人たちがいたんだなあ（当たり前のことなんだけど。笑）、とったりしています。 ;)

興味のある人は観てみてくださいね。 ;)

[4] 演奏のヒント！

『同じパターンが続くときのポイント』

TromboneでもEuphoniumでも、もちろん他の楽器でも、同じパターン（伴奏の頭打ちや、裏打ち、同じ音型のパターン）が繰り返されるときに注意するポイントを今回は書いてみようと思います。

こういう状況のときに陥りやすいことの代表格は、テンポが速くなっていってしまったり、逆に遅くなっていってしまうことですね。そして、それを気をつけながら演奏していると、なんだかぎこちなくなってしまう（笑）。
そんな経験、ありませんか？ :D

出てきているパターンによって少し気をつけるポイントは違ってくるのですが、まず、「短いパターンの繰り返し」の場合は、パターン2つ分を1フレーズとして捉えてみることに。
短いパターンを細かく繰り返すと、遅れたり、速くなってしまったり、吹いている間に今自分がテンポなのか、早いのか遅いのか、がそもそもわからなくなってしまうこともあります（笑）。

そういうときには、パターンを2つか4つでまとめて大きなフレーズで捉えてみましょう。

[例えば]

「ソラシド」という16分音符が4つあるのが長く続くとします。その時、「ソラシド」を何回も繰り返すようにするよりも、「ソラシド」のパターンを2つ続けたものを1つのフレーズ「ソラシドソラシド」と捉えて、それを繰り返していくほうが、音楽的な流れもできますし、テンポもキープしやすくなります（自分がテンポで演奏できているのかもわかりやすくなるし、周りが聞きやすくなるもなります）。

最後にもう一つ。

こういう同じパターンが続くときのブレスの取り方ですが、息がなくなるまで吹いて、なくなった時にブレスを取る人が多くいます。でも、こういう同じパターンを繰り返し吹く状況のときには、息が残っている状態のときにこまめに少しずつブレスを取っていくほうが、テンポを落とすことなく流れを維持しながら吹き続けることができますよ。ぜひ、やってみてくださいね！ :) ;)

編集後記

あけましておめでとうございます！
2020年もこれまで通り、毎日コツコツと努力を積み重ねていこうと思っています。 ;)

個人的に一つ嬉しいのが、年が変わり、やっと後厄が終わりました。

前厄のときからいろいろなことにかなり気をつけて過ごしてきましたが、なんとか無事に前厄、本厄、後厄の3年を元気に過ごしていくことができました！

でも、これに気を緩めず、これまでのように身体と心の健康を心がけて、毎日を楽しく過ごしていきます。

今年もよろしくお願いします。

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>